縦覧結果の公表

・政策等の名称

成田市印旛沼流域関連公共下水道事業計画の変更(案)

・意見等の募集期間

令和5年12月1日 から 令和5年12月14日

・意見等の件数

1件 (1人)

・担当課

下水道課(20-1553)

成田市印旛沼流域関連公共下水道事業計画の変更(案)について提出された意見と市の考え方

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
1	今回の公共下水道事業計画変更についてですが、不動ヶ	今回の公共下水道事業計画の変更は、事業計画期間
	岡土地区画整理事業に接続する公共下水道とお聞きしまし	の延伸、計画諸元の変更、汚水の主要な管渠の配置、
	た。不動ヶ岡土地区画整理事業は、種々の問題点を孕んで	構造、及び能力等の変更、並びに雨水の排水区域の拡
	おります。	大を行い下水道事業の促進を図るものです。
	①この事業は国の地球温暖化対策の推進に関する法律(温	不動ケ岡土地区画整理事業が予定されている区域は
	対法)に合致しないと考えます。温室効果ガス(GH	市街化区域であり、汚水排水については、すでに公共
	G)を削減することにより、現世代、将来世代の国民の	下水道事業計画区域内であるため、土地区画整理事業
	健康で文化的な生活を確保し、人類の福祉に貢献するこ	に伴う市街地整備に合わせ、主要な管渠の配置、構
	とを目的とするとあります。	造、及び能力等の変更を行うものです。
	②森林を伐採し、山を崩し平坦な土地に仕上げることは、	また、土地区画整理事業により計画的な市街地整備
	相当のGHGを輩出します。然も民有林といえども、森	が予定されている区域の雨水を速やかに排除するため
	林は公共財です。森林は様々な機能を持っています。	に、公共下水道全体計画に基づき、雨水の排水区域の
	・洪水防止・水資源・CO2吸収・生物多様性・癒し効	拡大を行うものです。
	果・気温調節・資源を育む・振動や騒音を防ぐ・大風を	公共下水道事業計画の変更は、公衆衛生の向上、公
	防ぐ、等々。	共用水域の水質保全、及び浸水の防除を図るために必
	これらの問題を解決せずに、土地造成を行い、公共下水	要な変更であると考えております。
	道事業計画をすることには反対します。	